



参加
無料

—先着60名—

ユニバーサルツーリズム 南信州シンポジウム

～誰もが安心して楽しめる南信州を私たちはどう描くか～

少子高齢化が進む我が国にあって、人口に占める高齢者や障がい者の割合が3割を超え、また2025年には団塊世代が75歳以上を迎える時代を控え、「旅行に行きたい」「あのお店に行きたい」「あの人に会いたい」などの思いが「旅行先の環境が整っていない、バリアが気になる」「家族や周囲の人に迷惑を掛けてしまう」「旅行先の情報が不足していて不安だ」などの現状や当事者や家族の「心のバリア」を要因として、実現を妨げているケースが多く見受けられます。

南信州地域では、「誰もが安心して楽しめる地域」を目指すうえで、観光はもちろん、福祉・介護・教育・協働などの視点からも、「南信州らしいユニバーサルツーリズム」について考えたいと思います。

開催日

令和6年

1/12 金

時間 13:15～15:50

会場 飯田市勤労者福祉センター 3階
第3研修室 飯田市東栄町3108番地1



MAP

PROGRAM

13:15 開会・挨拶

13:20 「信州ユニバーサルツーリズム」について (長野県観光部観光誘客課)

第一部 <13:30～14:25>

講演 「誰もが安心して楽しめる地域とは…」

講師：寺田ユースケ氏 (車いすYouTuber)

中村 正善氏 (観光庁・ユニバーサルツーリズム検討会委員)

事例紹介 「南信州のユニバーサルツーリズムの現状」

紹介：中山 陽平氏 (有限会社わくわく代表取締役)

(南信州おでかけチーム“ウイズ”副代表)

松村みな子氏 (飯田市在住 87歳 車いすユーザー)

第二部 <14:35～15:50>

パネルディスカッション 「南信州版ユニバーサルツーリズムの可能性～誰もが安心して楽しめる地域へ」

パネリスト：金井 伸樹氏 (長野県観光部長)

佐藤 健氏 (飯田市市長)

寺田ユースケ氏 (車いすYouTuber)

殿倉由起子氏 (株式会社太陽農場代表) (野菜ソムリエプロ)

白澤 裕次氏 (株式会社阿智昼神観光局代表取締役)

(株式会社南信州観光公社取締役)

(南信州おでかけチーム“ウイズ”副代表)

アドバイザー：中村 正善氏 (観光庁・ユニバーサルツーリズム検討会委員)

ファシリテーター：中山 陽平氏 (有限会社わくわく代表取締役)

(南信州おでかけチーム“ウイズ”副代表)

15:50 閉会

ユニバーサルツーリズムとは

年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して旅行や外出を楽しめること。

インフォーマルサービスとは

介護保険制度や各支援制度によらないサービス。(買い物や外出付添い、生活上で困っている事・家事のお手伝いなど)



寺田ユースケ氏 プロフィール 長野市在住

YouTubeチャンネル「寺田家TV」
(登録者約10万人)を運営

先天性の脳性マヒで首から下にマヒがあり車椅子で生活している。関西学院大学卒業後、お笑い芸人・ホスト・車椅子ヒッチハイクで47都道府県を旅した後にYouTuberになり登録者数10万人を突破。現在は日本全国を旅した経験を元にユニバーサルツーリズムの旅動画のディレクターとして観光動画の制作に力を入れている。著書 車イスホスト(双葉社)。一児の父でもある。



中村 正善氏 プロフィール 箕輪町在住

株式会社JINRIKI代表取締役社長
ユニバーサルツーリズム検討会委員(観光庁)

世界初のけん引式車いす補助装置「JINRIKI」の開発者。JINRIKIは車いすの行動範囲を広げ、観光分野に限らず、福祉や介護の場で効力を発揮している。2022年には、戦時下にあるウクライナの避難困難者支援のため2度渡航している。



お問い合わせ

阿智☆昼神観光局 TEL.0265-49-3171 担当:村松

E-mail:muramatsu@hirugamionsen.jp

長野県 地域発元気づくり支援金活用事業

主催:南信州観光公社 / 阿智☆昼神観光局 / 南信州おでかけチーム“ウイズ” (有限会社わくわく・有限会社わくわく・NPO法人生活応援ネットスキップ)

後援:長野県 / 飯田市 / 阿智村

令和6年1月12日(金) ユニバーサルツーリズム 南信州シンポジウム 参加申込書

FAX でのお申込みはこの申込用紙に必要事項をご記入の上、お申込みください。

送付先 FAX.0265-49-3170 (村松宛)

WEB でのお申込みは右記のQRコードからお申込みください。 WEB お申込みフォーム▶



お申込み期限: **12月31日(日)まで** **参加無料** (先着60名)

市町村名 会社名・団体名
電話番号
FAX番号
Eメール

出席者

所属	
お名前	
所属	
お名前	
所属	
お名前	
所属	
お名前	

お問い合わせ ● 阿智☆昼神観光局 TEL.0265-49-3171 担当:村松 E-mail:muramatsu@hirugamionsen.jp

南信州新聞に掲載された活動

阿智☆昼神観光局

紅葉の絶景に感動の声

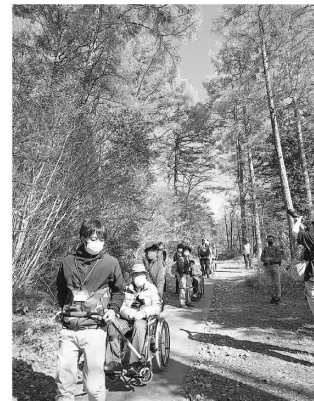
ヘブンス車いすツアー初開催

阿智村の阿智☆昼神観光局(以下「阿智観光局」)は、同村のヘブンスをのほらで、車いすユーザーを対象にしたユニバーサルイベント「車いすで行く!ヘブンスそのはら」を開催し、紅葉と森林セラピーロードwithプレミアムサポートを初めて開いた。9組14人が参加。介助を受けながら紅葉の絶景を楽しみ、森林の癒やしを体感した。同局と、飯田下伊那地域でユニバーサルツーリズムを推進する「南信州」の声を上げていた。

阿智観光局は、同局が主催。同局が展開する要支援・要介護者向けの介助付き旅行サービス「昼神☆レミ」を初めて旅行商品として募集した。

ヘブンスそのはらは、車いす利用者も楽しめるよう整備されているのが特長で、参加者は車いすに乗ったままロープウェイに乗車。山々の紅葉や南アルプスを眺め、きれいだねと喜びの声を上げていた。

飯田市滝の沢



サポートを受けながら遊歩道を進む参加者

の松村ミナ子さん(85)は「ロープウェイに乗るのは初めてで、こんな良い景色を見させてもらえてうれしい。森は空気がさわやかで気持ち良かった」と語り、感動と感謝の気持ちを俳句や短歌にしていた。

同局では今後、個人のリクエストに応じて観光地を回る商品も検討する。同局とヘブンスそのはらを運営するジェイ・マウンテン・センターの社長を務める白澤裕次さんは「若い人も高齢者も、ハンディキャップのある人も大歓迎している人も、いろんな人が楽しめる高レベルのツアーをつくってきたい」と語った。

旭ヶ丘中

誰もが楽しめる観光考える

温泉でユニバーサルツーリズム学ぶ

飯田市旭ヶ丘中学校の生徒が21日、阿智村の昼神温泉郷を訪れ、同村で進むユニバーサルツーリズムを学んだ。SDGs(持続可能な開発目標)学習の一環で17人が参加。車いすを体験し、障害者も楽しめる南信州の観光にはどうしたらよいかを考え、旅行プランを発表した。

地域について学ぶ総合学習の時間「樫の実チャレンジ」で、3地域でユニバーサルツーリズムの推進に取り組む「南信州おでかけチーム「ウィズ」」のメンバーと一緒に、障害者も楽しめる旅行にするためにどんなことができるかを考え、グループごとに旅行プランを発表。どんな障壁があるかやどんな助けが必要かなどを丁寧に書き、障害者の心や体力、補助道具も考慮しながらプランを完成させていった。

海野蒼太郎さん



補助器具を使って車いすで川を渡る旭ヶ丘中の生徒

(14)は「補助器具で車いすの行ける場所が広がり画期的だった。今までなかったことが驚き」と、障害者は特別ではなく、健常者と同じなんだという意識を持ち接したいと話した。